

肝炎サポート国民大集会

2018年度に 重症者医療費 助成制度の創設を!

平成30年度厚生労働省予算の概算要求に、肝がん治療に対する医療費助成が盛り込まれました。患者団体の長年の要望が結実しようとしています。

ただし、この要求が実現するためには正式な政府予算案として国会に提出される必要があります。さらに、今回の制度案では、肝硬変の治療が対象となっていないなど、大きな課題も残されています。

また、治療法の発展では、C型肝炎ウイルスを排除できる経口新薬の普及が進むと同時に、B型肝炎の画期的「創薬」も現実化の道が見えはじめました。

そこでこのたび、あらたな医療費助成制度の平成30年度予算化を確実にし、肝炎対策のいっそうの充実を目指すとともに、これからの肝炎治療を展望する大集会を開催いたします。関係各位のご参加をお待ちしています。



11月16日(木)

東京国際フォーラム

ホールC (定員1500席)

開場 4:30

開会 午後5:30~

終了予定 午後8:00

東京都千代田区丸の内3-5-1 (地図裏面)
JR有楽町駅・国際フォーラム口から徒歩1分
JR東京駅から徒歩5分(京葉線・東京駅から地下で直結)



●プログラム

ご講演「肝炎治療の最前線」

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター肝炎情報センター長
考藤達哉氏

ご報告「肝炎対策の歩みと今後の課題」

厚生労働省 健康局 肝炎対策推進室長
小野俊樹氏

国会議員からごあいさつ

(主催) 薬害肝炎全国原告団・弁護団、全国B型肝炎訴訟 原告団・弁護団

(協賛) 日本肝臓病患者団体協議会

お問い合わせ 全国B型肝炎訴訟東京弁護団事務局 03-3357-5742